
2022年2月期第1四半期決算

＜参考資料＞

2021年 6月29日

くらしの「あたらしい幸せ」を発明する。



J. FRONT RETAILING

《1Q実績》

- ・4月公表後の緊急事態宣言発出に伴う営業縮小などにより、事業利益は黒字確保も計画未達、営業利益、四半期利益は損失計上

《通期見通し》

- ・ワクチン接種進行などによる経済活動回復を見込むも
トップライン再精査、対策を織り込み 通期業績予想を修正

《資金対策》

- ・緊急対策を継続し、手許流動性及び安全性を確保

2021年度 連結1Q実績 (IFRS)

- ▶ 総額売上高：1,906億円 対前年+67.3%
- ▶ 事業利益：12億円 営業縮小期間の固定費振替30億円もあり黒字確保
- ▶ 営業利益：△38億円 対前年増益も赤字

(単位：億円、%)

2022年2月期	1Q				
	実績	対前年		対前々年	
		増減高	増減率	増減高	増減率
総額売上高	1,906	766	67.3	△ 833	△ 30.4
売上収益	740	106	16.8	△383	△34.1
売上総利益	335	122	57.6	△186	△35.7
販売管理費	322	70	28.2	△74	△18.8
事業利益	12	51	-	△ 111	△ 89.6
その他の営業収益	4	△3	△46.1	△3	△47.9
その他の営業費用	55	△184	△76.9	50	990.4
営業利益	△ 38	232	-	△ 166	-
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	△30	172	-	△105	-

2021年度 1Q実績 (IFRS)

- ▶ 百貨店事業：営業縮小影響で、固定費振替後も事業赤字 対前年では増
- ▶ S C事業：事業利益増も、専門店事業の売却に伴う損失△17億円で営業赤字

(単位：億円、%)

2022年2月期		1Q		
		実績	対前年	
			増減高	増減率
事業利益	百貨店事業	△8	35	-
	SC事業	14	13	-
	デパート事業	8	△ 2	△20.3
	決済・金融事業	0	△ 0	△48.5
	その他	3	△ 0	△14.3
	合 計	12	51	-

営業利益	百貨店事業	△39	191	-
	SC事業	△ 9	32	-
	デパート事業	8	0	11.7
	決済・金融事業	0	0	4.0
	その他	1	7	-
	合 計	△38	232	-

2021年度 連結SG&A 1Q実績 (IFRS)

▶ 固定費振替前ベースで対前年 + 16億円、対19年△55億円

(単位：億円、%)

2022年2月期	1Q				
	実績	対前年		対前々年	
		増減高	増減率	増減高	増減率
人件費	126	18	17.0	△25	△16.5
広告宣伝費	26	10	65.4	△ 3	△12.9
包装配達費	3	0	4.8	△ 1	△34.7
賃借料	3	0	37.3	△ 2	△41.1
減価償却費	58	14	33.9	△14	△19.8
作業費	15	2	18.8	△ 6	△31.2
その他	88	23	36.3	△20	△18.4
合計	322	70	28.2	△74	△18.8

	人件費	4	△16	△78.4	-	-
	減価償却費	10	△20	△66.3	-	-
	その他	3	△17	△81.9	-	-
	固定費振替	18	△55	△74.1	-	-
	振替前ベース	341	16	5.1	△55	△14.0

2021年度 連結上期見通し (IFRS)

- ▶ 総額売上高 : 4,150億円 対前年29.8%増も、対4月予想 △550億円
- ▶ 事業利益 : 35億円 対4月予想 △30億円
- ▶ 営業利益 : △25億円 対4月予想 △65億円

(単位 : 億円、%)

2022年2月期	1Q		2Q		上期		
	実績	対前年増減	見通し	対前年増減	見通し	対前年増減	対4月予想増減高
総額売上高	1,906	67.3%	2,244	8.6%	4,150	29.8%	△550
売上収益	740	16.8%	909	8.2%	1,650	11.9%	△150
売上総利益	335	122	385	3	720	125	△95
販売管理費	322	70	363	22	685	93	△65
事業利益	12	51	23	△18	35	32	△30
その他の営業収益	4	△3	6	△22	10	△26	0
その他の営業費用	55	△184	15	9	70	△175	35
営業利益	△38	232	13	△51	△25	181	△65
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	△30	172	0	△40	△30	133	△40

2021年度 上期見通し (IFRS)

- ▶ 百貨店：休業終了後も2Qも自粛影響で赤字継続
- ▶ SC：黒字は確保も、賃料減と1Q専門店事業譲渡費用計上で対4月予想は減

(単位：億円)

2022年2月期		1Q		2Q		上期		
		実績	対前年 増減高	見通し	対前年 増減高	見通し	増減高	
							対前年	対4月 予想
事業利益	百貨店事業	△8	35	△2	△17	△11	18	△18
	SC事業	14	13	14	6	29	19	△19
	デパート-事業	8	△2	6	△1	14	△3	6
	決済・金融事業	0	△0	1	△1	2	△1	2
	その他	3	△0	1	△3	4	△5	△1
	合 計	12	51	23	△19	35	32	△30
営業利益	百貨店事業	△39	191	△10	△38	△50	153	△43
	SC事業	△9	32	13	0	3	33	△44
	デパート-事業	8	0	12	10	20	3	8
	決済・金融事業	0	0	1	△2	1	△2	1
	その他	1	7	2	△7	4	0	△0
	合 計	△38	232	12	△59	△25	181	△65

通期業績予想修正の前提

- ▶ ワクチン接種先行国の状況を踏まえた年間想定シナリオにてトップラインを再精査
- ▶ 日本においても接種率50%到達で移動制限等緩和、70%超ではほぼ平常化と仮定

ワクチン接種状況		移動制限	消費動向	店舗休業要請	21年下期の傾向
11月	接種率 50%到達	制限緩和	徐々に回復	無し	百貨店・SC： 年度終盤にかけ段階的回復 インバウンドは20年度同水準 デベ・金融：当初計画どおり
1月	70%以上が 2回接種済	国内移動 制限解除	本格的な回復傾向		



《百貨店》 下期総額売上高（店舗・国内） 対19年度増減率想定

3Q	4Q	下期
△ 10～20%	±0%程度	△ 5%程度

▶ 売上総利益 + 20億円（総額売上高 + 100億円）

百貨店：強化カテゴリー対策、ライブ販売拡大

S C：アプリへの他社クレジット連携拡大などデジタル強化施策

▶ 販管費 △60億円（構造改革に加え、圧縮）

百貨店：要員・委託ポスト見直し、投資圧縮、管理可能経費削減

S C：業務委託削減、管理可能経費削減

▶ その他の営業収益 + 50億円

緊急時対策として、保有資産売却などさらに踏み込んだ施策を検討

事業利益 + 80億円

営業利益 + 130億円 の効果

2021年度 連結通期見通し (IFRS)

- ▶ 総額売上高：再精査後、嵩上含め対前年22.0%増 対4月予想 △700億円
- ▶ 事業利益：コスト対策徹底、対前年増益見通し 対4月予想 △ 65億円
- ▶ 営業利益：その他収益施策等で下期改善見通し 対4月予想 △ 55億円

(単位：億円、%)

2022年2月期	上期			下期			通期		
	見通し	対前年 増減	対4月 予想 増減高	見通し	対前年 増減	対4月 予想 増減高	見通し	対前年 増減	対4月 予想 増減高
総額売上高	4,150	29.8%	△550	5,200	16.4%	△150	9,350	22.0%	△700
売上収益	1,650	11.9%	△150	2,000	16.5%	△140	3,650	14.4%	△290
売上総利益	720	125	△95	830	80	△95	1,550	206	△190
販売管理費	685	93	△65	745	17	△60	1,430	110	△125
事業利益	35	32	△30	85	63	△35	120	96	△65
その他の営業収益	10	△26	0	60	39	55	70	12	55
その他の営業費用	70	△175	35	65	△12	10	135	△188	45
営業利益	△25	181	△65	80	116	10	55	297	△55
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△30	133	△40	40	138	10	10	271	△30

2021年度 通期見通し (IFRS)

▶ 百貨店、SC:対前年大幅改善も、トップライン修正で対4月予想マイナス

(単位：億円)

2022年2月期		上期			下期			通期		
		見通し	増減高		見通し	増減高		見通し	増減高	
			対前年	対4月 予想		対前年	対4月 予想		対前年	対4月 予想
事業利益	百貨店事業	△11	18	△18	44	45	△24	33	64	△42
	SC事業	29	19	△19	15	13	△10	44	33	△30
	デパート・事業	14	△3	6	16	5	3	31	2	9
	決済・金融事業	2	△1	1	7	7	△1	9	5	1
	その他	4	△5	△1	5	△7	△0	10	△12	△1
	合計	35	32	△30	85	63	△35	120	96	△65

営業利益	百貨店事業	△50	153	△43	35	41	△27	△15	194	△70
	SC事業	4	33	△44	14	52	△7	18	86	△51
	デパート・事業	21	3	8	17	14	3	38	18	12
	決済・金融事業	2	△2	1	6	6	△1	9	4	1
	その他	4	0	△0	5	△9	0	9	△9	△1
	合計	△25	181	△65	80	116	10	55	297	△55

2021年度 連結SG&A 通期見通し (IFRS)

- ▶ 通期 対4月予想 △125億円圧縮 (固定費振替前ベースで△106億円)
- ▶ 人件費は事業売却あり減 対4月予想 △41億円
- ▶ 広告宣伝費の効率化推進 対4月予想 △13億円

(単位：億円)

2022年2月期	上期			下期			通期		
	見通し	増減高		見通し	増減高		見通し	増減高	
		対前年	対4月予想		対前年	対4月予想		対前年	対4月予想
人件費	242	11	△13	237	△19	△28	479	△7	△41
広告宣伝費	48	16	△5	48	0	△7	97	17	△13
包装配達費	17	3	3	18	2	2	35	6	5
賃借料	6	△0	0	9	△5	△5	15	△5	△5
減価償却費	139	26	△3	140	2	△5	280	28	△9
作業費	65	29	11	57	31	12	122	60	24
その他	166	6	△56	233	4	△28	400	10	△85
合 計	685	93	△65	745	17	△60	1,430	110	△125
固定費振替	18	△55	18	-	-	-	18	△55	18
振替前ベース	703	38	△47	-	-	-	1,448	55	△106

2021年度 1Q実績と上期見通し (IFRS)

- ▶ 総額売上高：上期見通し 対前年+32.0%も対4月予想 △273億円減
- ▶ 販管費：対4月予想では圧縮も、固定費振替テクニカル要因等により対前年増
- ▶ その他費用：1Q固定費振替27億円（原価5億円 販管費22億円）

(単位：億円、%)

2022年2月期	1Q		2Q		上期		
	実績	対前年増減	見通し	対前年増減	見通し	対前年増減	対4月予想増減高
総額売上高	1,038	78.0%	1,293	9.3%	2,332	32.0%	△273
売上収益	362	51.9%	476	7.3%	839	22.9%	△138
売上総利益	222	99	270	9	493	108	△69
販売管理費	226	62	271	28	498	90	△54
事業利益	△4	36	△0	△19	△5	17	△15
その他の営業収益	3	△3	0	△16	3	△20	1
その他の営業費用	30	△150	2	△1	33	△152	25
営業利益	△31	188	△3	△34	△35	149	△39
四半期利益	△21	131	△5	△24	△27	107	△23

2021年度 通期見通し (IFRS)

- ▶ 総額売上高：通期で対前年2割増、対4月予想で△336億円
- ▶ 販管費：対4月予想は△77億円圧縮
- ▶ 事業利益、営業利益：対前年大幅改善、通期で黒字確保見込み

(単位：億円、%)

2022年2月期	上期			下期			通期		
	見通し	対前年 増減	対4月 予想 増減高	見通し	対前年 増減	対4月 予想 増減高	見通し	対前年 増減	対4月 予想 増減高
総額売上高	2,332	32.0%	△273	3,026	17.7%	△63	5,358	23.5%	△336
売上収益	839	22.9%	△138	1,060	16.5%	△34	1,899	19.3%	△172
売上総利益	493	108	△69	610	77	△43	1,103	186	△112
販売管理費	498	90	△54	567	38	△23	1,065	129	△77
事業利益	△5	17	△15	43	39	△20	38	56	△35
その他の営業収益	3	△20	1	1	△5	1	4	△25	2
その他の営業費用	33	△152	25	7	△5	2	40	△157	27
営業利益	△35	149	△39	37	39	△21	2	188	△60
当期利益	△27	107	△23	17	16	△16	△10	123	△39

Website

<https://www.j-front-retailing.com>

くらしの
「あたらしい幸せ」を
発 明 する。



J. FRONT RETAILING

本資料における業績予測や将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は、見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。